

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)9222
担当部課名	保健福祉部	地域福祉	課	福祉推進
事務事業名	ボランティア活動指導者等災害保障保険料		事業コード	17210

1 総合計画における位置づけ

政策名	I 第7章	個性豊かなコミュニティづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	ボランティア活動の促進	~63 年度
施策名	第1施策	ボランティア活動の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市ボランティア活動指導者等災害保障保険制度実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
ボランティア活動団体等がボランティア活動中に不測の事故により他人の生命、身体若しくは財物等に損害を与え、活動者が法律上の賠償責任を負った場合、又は活動者若しくは参加者がボランティア活動中に急激かつ偶然に外来の事故によって死亡し、若しくは傷害を負った場合に保障することにより、ボランティア活動の発展と住民福祉の向上を図り、住みよいまちづくりを実現することを目的とする。		・ボランティア活動者 ・ボランティア活動参加者	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
保障の内容 ・損害賠償責任保険(免責額なし・支払限度額) 身体賠償事故 1名1億円 1事故5億円 財物賠償事故 1事故1000万円 保管物賠償事故 1事故300万円 ・傷害事故保険 死亡保険金 1300万円 後遺傷害保険金 1300万円~39万円 入院保険金 1日 5000円 通院保険金 1日 3000円 支払保険料 11,371,386円 保険適用事故件数:18件		ボランティア活動の支援	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	保険金給付率		
指標式	各年度の保険金給付額 / 各年度の保険料支払額 × 100		
指標設定の意図	保険制度の性格上、目標設定は馴染まないため、保険金給付率により活動指標とする。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	5	7	a 8	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	12,444	12,512	11,372	11,530
	人員・時間数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人
	人件費	2,526	2,526	2,526	2,526
	その他経費				
	合計	14,970	15,038	13,898	14,056
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 事業の性格から具体的な数値目標はないが、ボランティア活動中の事故により傷害等を受けた方への保障を行った。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： ボランティア活動を側面から支援する制度であり、ボランティア活動の発展に寄与している。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 B ▼	A : 妥当である	理由： 保険の性格上、事故が少ない場合には経済性はよくないが、万が一の場合を考えれば妥当である。過去において、支払い保険料の数倍の保険給付額の年もあった。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 一般の保険制度としては存在するが、その場合、保険料は自己負担となる。ボランティア活動は基本的に無償活動であり、保険料を市が負担することにより、より一層ボランティア活動を活発化できる。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 市の保障制度があることにより、安心してボランティア活動を行うことができる。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： ボランティア活動を側面から支援する制度であり、ボランティア活動の発展に寄与している。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 保険制度の市民への周知をより一層充実することにより、安心して市民活動を行うことができる。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 適用保険会社が増加することにより、コストが下がる可能性がある。ただし、事故率が高くなればコストは上がる。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	他の自治体でも同じような制度あり
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	今後、ますます市民活動が重要になっていく中、その活動をより一層、活発なものとするためには、ボランティア保障制度は必要である。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--